

上越市観光交流ビジョンに基づく

上越市の観光に関するデータ集2022

DATA BOOK

令和4年度

目次

1. 観光入込客数	1
2. 宿泊	6
3. インバウンド	13
4. 観光消費額	16
5. その他	17

——上越市の観光に関するデータ集とは？——

令和2年度を初年度とする「上越市観光交流ビジョン」は、観光の取組を行うにあたって、方向性を共有し地域一体となって取組を進めることができるよう、「A.観光マインドの底上げ」「B.受入環境の整備・充実」「C.プロモーションの工夫」「D.データの活用」の4つの「基本取組」を設定しました。

本書は、「基本取組」の「D.データの活用」に基づく取組として、当市の観光の状況や客観的なデータをまとめ、年々、変化が速くなっている観光の動向を把握するために作成したものです。

私が好きな上越の景色
伝えたい上越の魅力

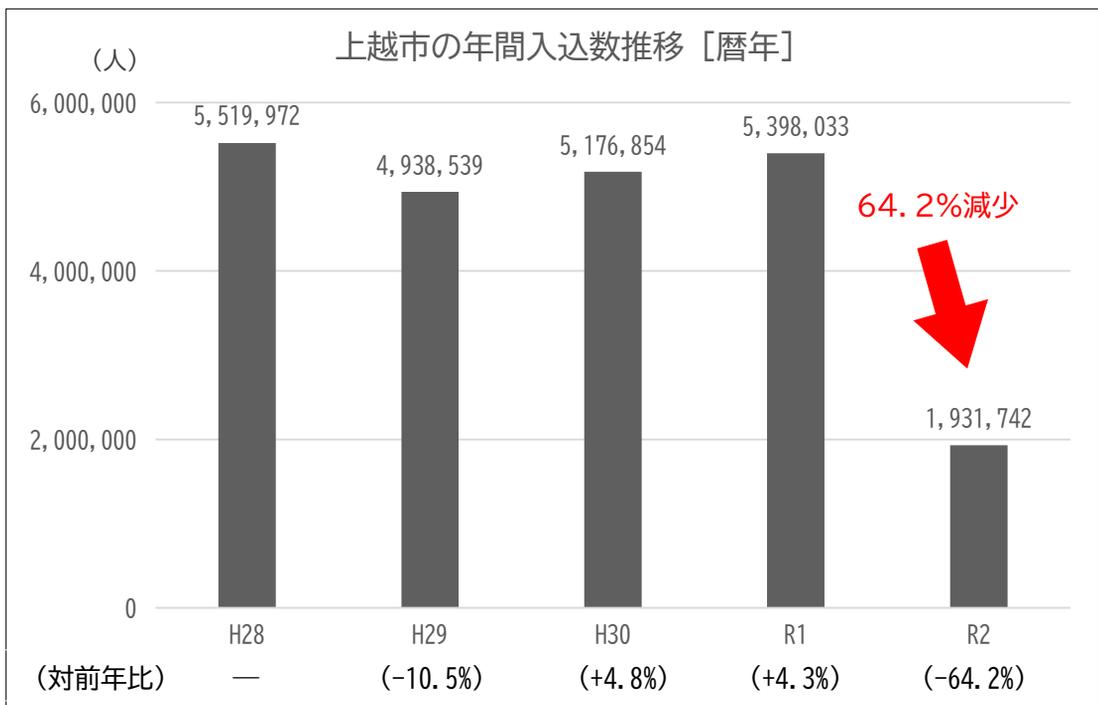
#上越もよう
My Favorite Joetsu

けんけんす

1. 観光入込客数

上越市の観光入込客数(年間)

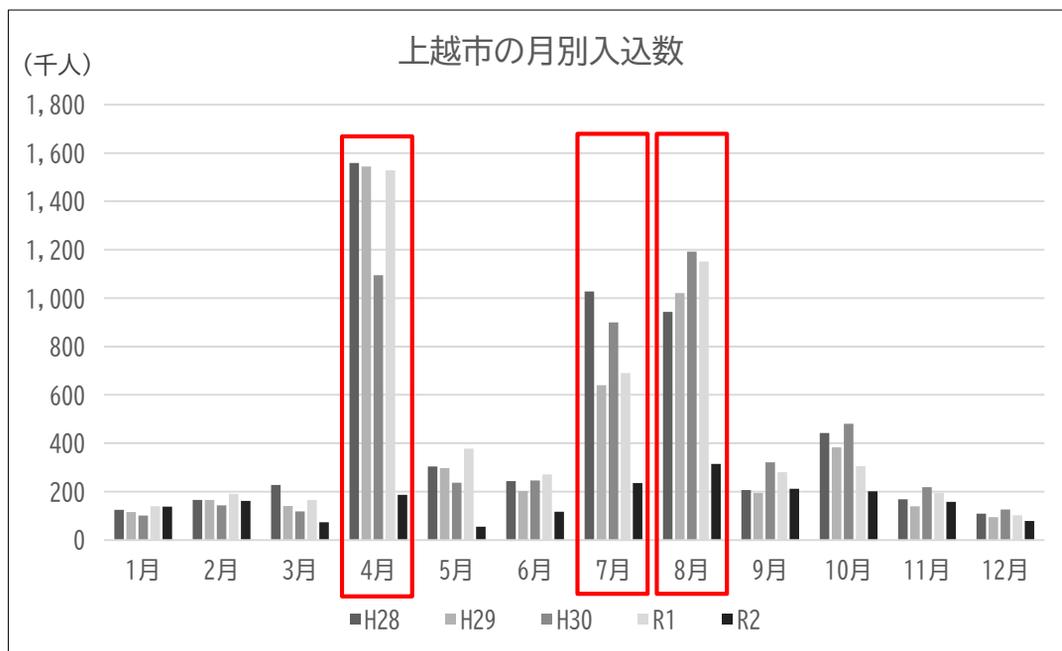
- 平成29年は、上越市立水族博物館のリニューアルに向けた閉館、天候不良による海水浴客の減少等の影響により減少した。
- 平成30年は、同水族博物館「うみがたり」のリニューアルオープンにより増加した。
- 令和元年は、観桜会開催期間に桜が見頃となったことや、歴史博物館のリニューアルオープンに伴い増加した。
- 令和2年は、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種イベントの中止や移動制限による来訪機会の減少により、大幅に減少した。



出典：新潟県観光入込客統計調査を基に上越市で作成

上越市の観光入込客数(月別)

- 入込数を月別の推移で見ると、いずれの年も主要なイベントが開催される、4月・7月・8月（7月及び8月には海水浴場もオープン）の入込が多いのに対し、主なイベントが無い月の入込は落ち込む傾向となっている。
- 令和2年は、全国的に緊急事態宣言が発令された4月・5月の入込が極端に少なかったが、「GoToトラベル」や「上越市泊まって応援キャンペーン」が展開された6月以降は、入込が回復傾向となった。



	H28	H29	H30	R1	R2
1月	124,641	115,993	100,746	139,369	137,837
2月	165,990	165,105	142,720	190,883	162,123
3月	227,655	140,416	118,389	165,087	73,547
4月	1,558,173	1,543,697	1,094,918	1,528,437	186,878
5月	304,149	297,143	236,462	378,185	55,485
6月	242,788	202,918	246,714	271,390	116,413
7月	1,027,650	639,740	899,810	690,457	235,651
8月	943,141	1,020,999	1,192,024	1,151,645	315,121
9月	206,417	195,307	321,462	279,737	211,312
10月	442,391	383,493	480,021	305,701	201,337
11月	168,471	139,571	217,827	194,900	157,843
12月	108,506	94,157	125,761	102,242	78,195
合計	5,519,972	4,938,539	5,176,854	5,398,033	1,931,742
対前年比	—	-10.5%	+4.8%	+4.3%	-64.2%

出典：新潟県観光入込客統計調査を基に上越市で作成

【上越市と新潟県の比較】令和2年観光入込客数(月別)

- 上越市と新潟県ともに8月の入込が一番多い。
- 新潟県全体（※上越市含む）は全国に緊急事態宣言が発令された4月・5月は入込が減少した。上越市は観桜会が開催された4月は入込があったものの、5月は入込が減少した。
- 上越市は年間の入込のうち、7月から10月の入込が半数を占めた。

令和2年 月別入込数

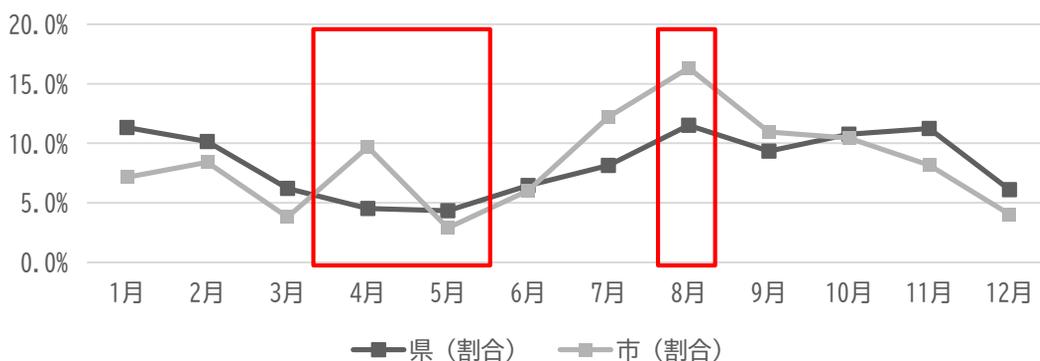
(千人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
新潟県	4,750	4,258	2,605	1,893	1,819	2,703	3,416	4,837	3,925	4,524	4,716	2,561	42,007
上越市	138	162	74	187	55	116	236	315	211	201	158	78	1,932
県(割合)	11.3%	10.1%	6.2%	4.5%	4.3%	6.4%	8.1%	11.5%	9.3%	10.8%	11.2%	6.1%	100.0%
市(割合)	7.1%	8.4%	3.8%	9.7%	2.9%	6.0%	12.2%	16.3%	10.9%	10.4%	8.2%	4.0%	100.0%

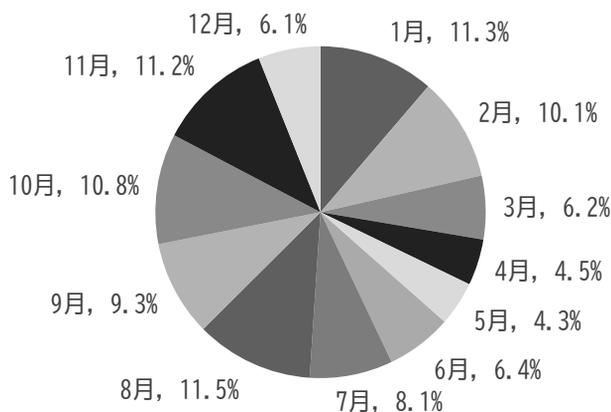
※各月の入込人数は1,000人未満を四捨五入している。

※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

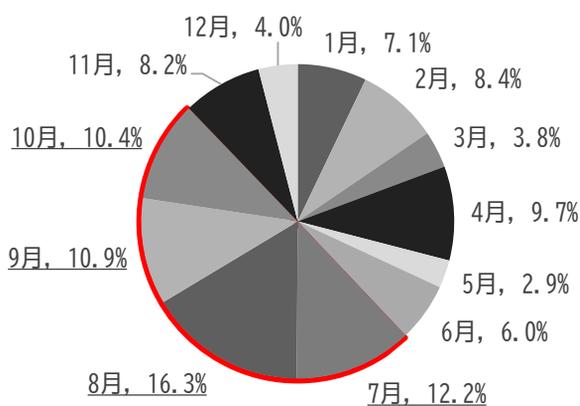
令和2年 年間入込に対する月別割合



新潟県 (R2)



上越市 (R2)



出典：新潟県観光入込客統計調査を基に上越市で作成

上越地域(上越市・妙高市・糸魚川市)の観光入込客数(年間)

- 上越市を含む上越地域の入込客数はほぼ横ばいで推移していたが、令和2年は約46%減少した。
- 新潟県全体(※上越地域含む)の推移を見ても、令和元年まで横ばいだったが、令和2年は前年の4割程度に減少しており、上越地域と同様の傾向である。
- 上越市と妙高市は、平成28年から令和元年まで上越地域の入込を約4割ずつ占めていたが、コロナ禍の令和2年は妙高市の減少幅が小さく、妙高市が上越地域の5割以上を占めている。

年間入込数推移 [暦年]

(人)

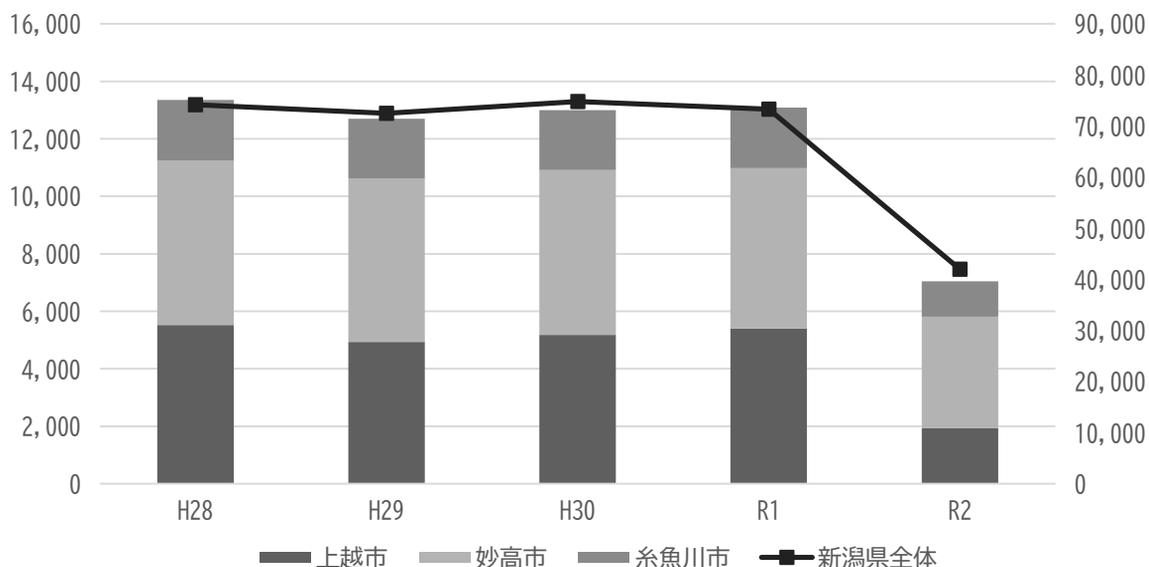
	H28	H29	H30	R1	R2	R2 (R1と比較)
新潟県全体	74,172,409	72,477,709	74,828,029	73,303,449	42,006,752	-42.7%
上越地域	13,355,412	12,694,999	13,003,064	13,082,033	7,039,702	-46.2%
上越市	5,519,972 (41.3%)	4,938,539 (38.9%)	5,176,854 (39.8%)	5,398,033 (41.3%)	1,931,742 <u>(27.4%)</u>	-64.2% (-13.9%)
妙高市	5,713,190 (42.8%)	5,675,510 (44.7%)	5,737,460 (44.1%)	5,580,400 (42.7%)	3,881,790 <u>(55.1%)</u>	-30.4% (+12.4%)
糸魚川市	2,122,250 (15.9%)	2,080,950 (16.4%)	2,088,750 (16.1%)	2,103,600 (16.1%)	1,226,170 (17.4%)	-41.7% (+1.3%)

※下段のパーセンテージは、上越地域の総入込に対する各市の入込の割合

【上越地域】
(千人)

上越地域と新潟県の入込推移

【新潟県】
(千人)



出典：新潟県観光入込客統計調査を基に上越市で作成

上越地域(上越市・妙高市・糸魚川市)の令和2年観光入込客数(月別)

- いずれの市も入込が一番多い月は8月の傾向にある。
- 3ページの新潟県全体の傾向と同様、全国に緊急事態宣言が発令された令和2年4月・5月は、いずれの市も入込が低迷した。

令和2年 月別入込数

(千人)

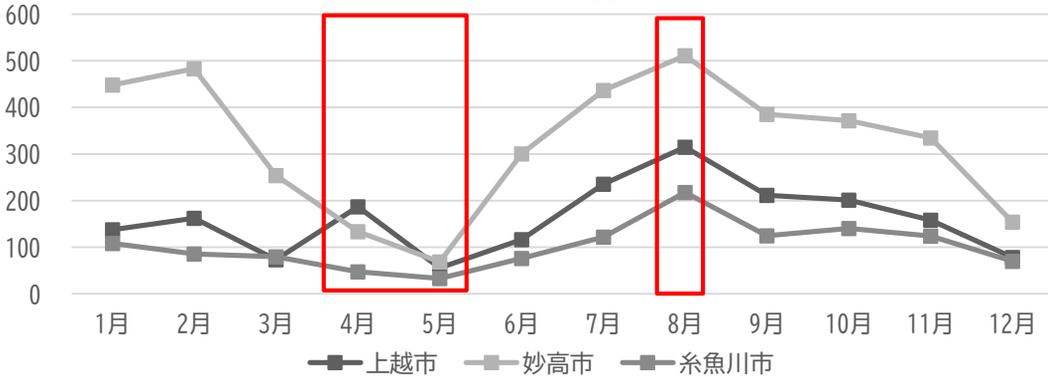
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
上越市	138	162	74	187	55	116	236	315	211	201	158	78	1,932
妙高市	448	483	254	133	68	300	437	511	386	372	334	154	3,882
糸魚川市	108	85	80	47	33	76	122	217	124	140	124	70	1,226
上越市(割合)	7.1%	8.4%	3.8%	9.7%	2.9%	6.0%	12.2%	16.3%	10.9%	10.4%	8.2%	4.0%	100.0%
妙高市(割合)	11.6%	12.5%	6.5%	3.4%	1.8%	7.7%	11.3%	13.2%	9.9%	9.6%	8.6%	4.0%	100.0%
糸魚川市(割合)	8.8%	7.0%	6.5%	3.8%	2.7%	6.2%	9.9%	17.7%	10.2%	11.5%	10.1%	5.7%	100.0%

※各月の入込人数は1,000人未満を四捨五入している。

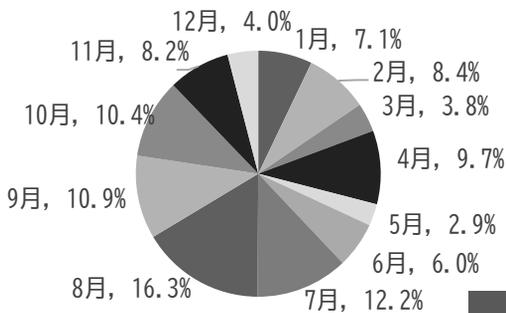
※四捨五入の関係で合計が合わない場合がある。

(千人)

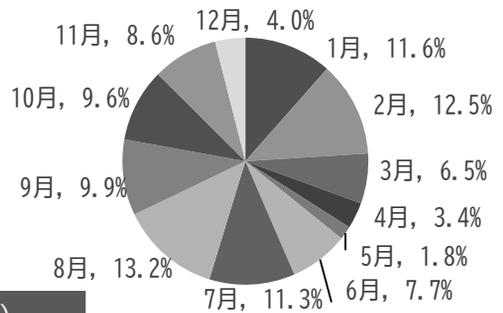
令和2年 月別入込数



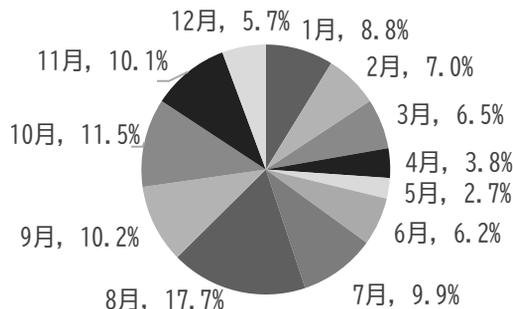
上越市 (R2)



妙高市 (R2)



糸魚川市 (R2)

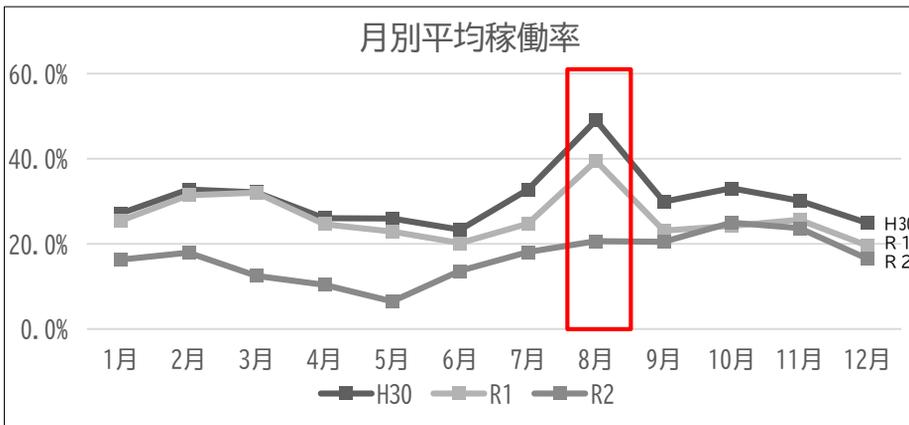
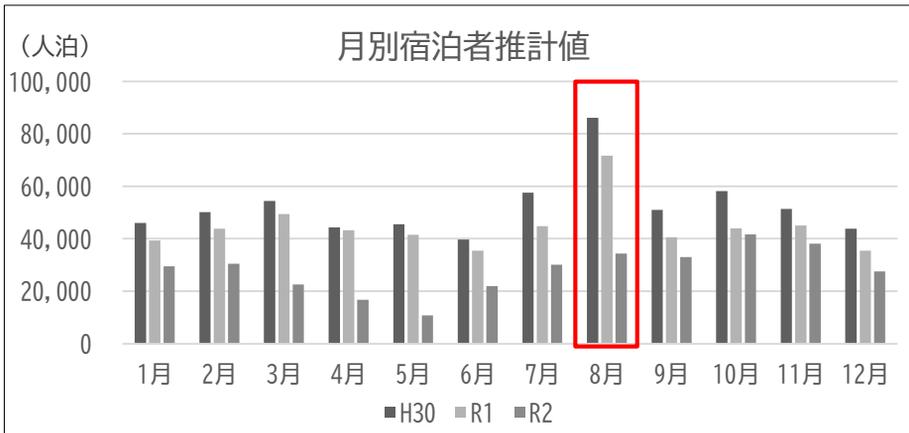
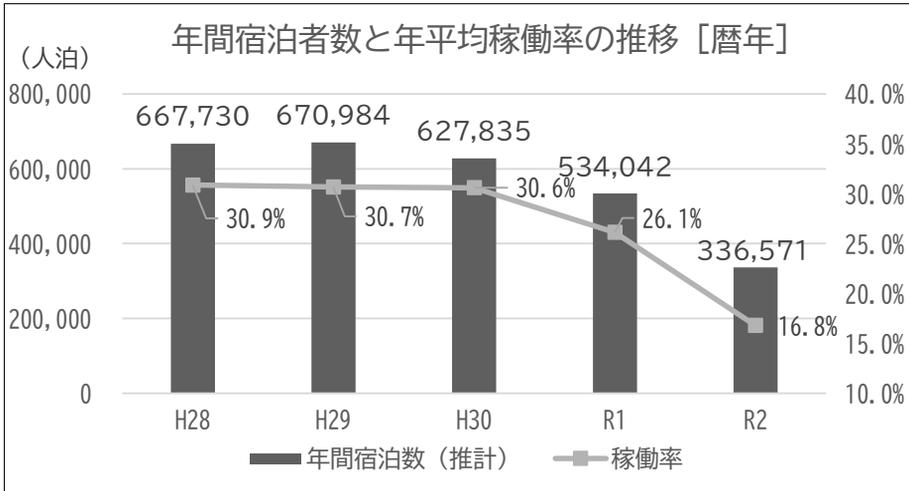


出典：新潟県観光入込客統計調査を基に上越市で作成

2. 宿泊

上越市の宿泊者数(年間)

- 近年の年間宿泊者数（推計値）は、おおむね60万人泊前後で推移していたが、新型コロナウイルスの影響により令和2年はその半数程度となった。
- 年間平均稼働率は、いずれの年も約30%前後で推移したが、令和2年は約17%となった。
- 例年、海水浴シーズンである8月の宿泊者数及び稼働率が最も高く、冬場は宿泊者が落ち込む傾向にある。



出典：宿泊事業者への上越市独自調査を基に作成

※市独自の調査方法…市内の宿泊事業者（約90者）へ調査票を送付し、回答があった施設から市内の年間稼働率を算出し、推計値を計算。

※稼働率は回答施設によって変動するとともに、回答宿泊施設が年によって異なるため単純比較はできず、あくまで参考である。

上越市の宿泊者数(月別)

- 令和2年の市内全体の宿泊者数(推計値)は336,571人泊(前年比▲197,471人泊)
- 令和2年は、全国的に緊急事態宣言が発令された4月・5月の入込が極端に少なかったが、「GoToトラベル」や「上越市泊まって応援キャンペーン」が展開され6月以降は、入込が回復傾向となった。

Covid-19
日本初確認
R2/1/16

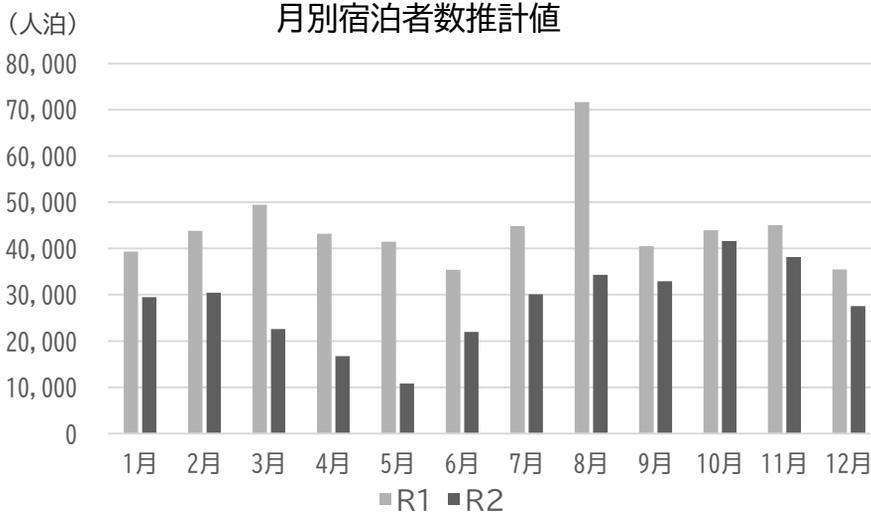
全国に緊急事態宣言
R2/4/16~5/31

上越市泊まって応援キャンペーン (R2/6/24~R3/3/14)

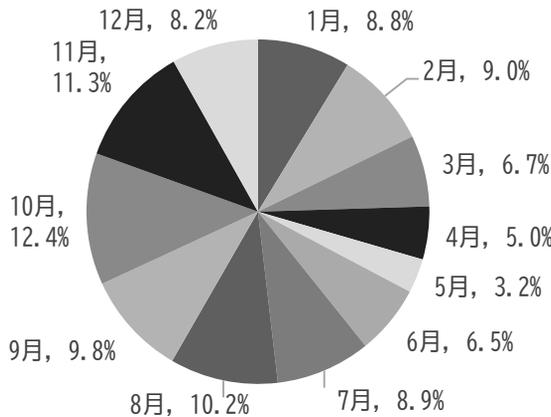
GoToトラベル (R2/7/22~12/28)

単位 [人泊]

年度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
R2	29,477	30,443	22,585	16,709	10,794	21,958	30,078	34,299	32,956	41,601	38,146	27,526	336,571
R1	39,310	43,835	49,434	43,164	41,461	35,386	44,815	71,659	40,529	43,921	45,048	35,479	534,042
比較	▲9,833	▲13,392	▲26,848	▲26,455	▲30,667	▲13,428	▲14,737	▲37,360	▲7,573	▲2,320	▲6,902	▲7,953	▲197,471
対前年比	▲25.0%	▲30.6%	▲54.3%	▲61.3%	▲74.0%	▲37.9%	▲32.9%	▲52.1%	▲18.7%	▲5.3%	▲15.3%	▲22.4%	▲37.0%



月別宿泊者数割合(R2)



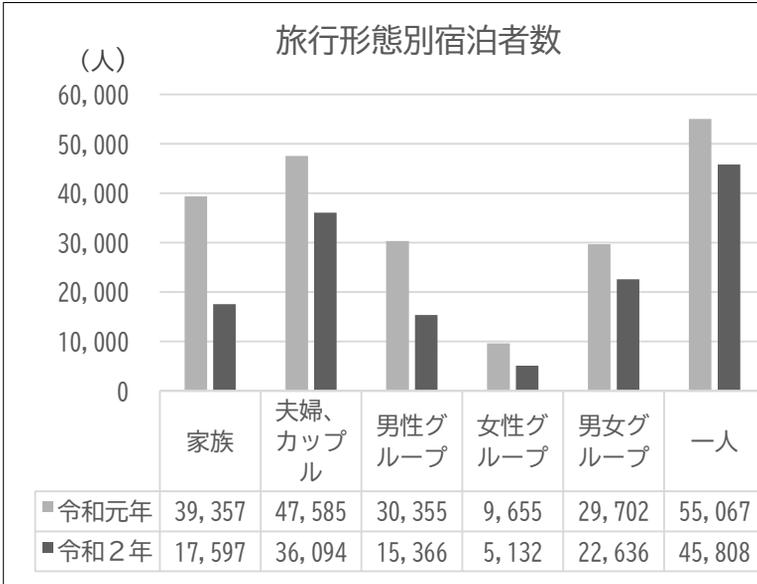
出典：宿泊事業者への上越市独自調査を基に作成

※市独自の調査方法…市内の宿泊事業者(約90者)へ調査票を送付し、回答があった施設から市内の年間稼働率を算出し、推計値を計算。

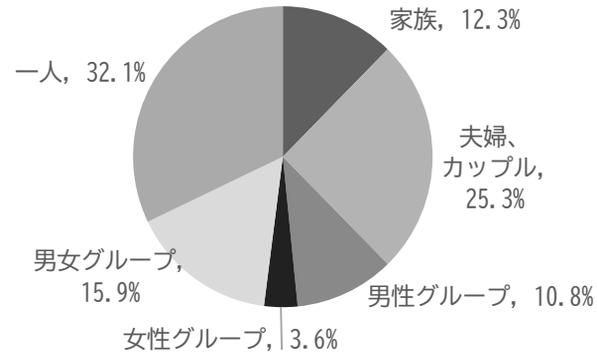
※稼働率は回答施設によって変動するとともに、回答宿泊施設が年によって異なるため単純比較はできず、あくまで参考である。

上越市の旅行形態における傾向(RESAS地域経済分析システムより)

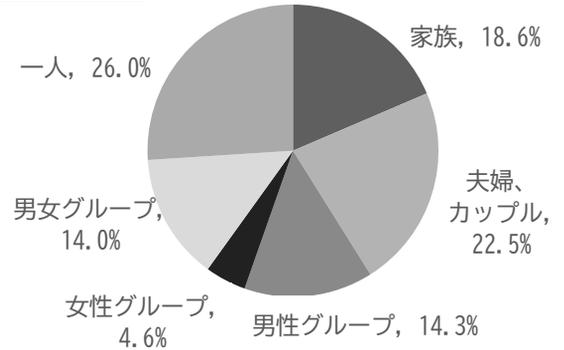
- 令和2年の旅行形態別では、「一人」が最も多く、次いで「夫婦、カップル」「男女グループ」の順に多い。
- 一方で、「女性グループ」が4%程度と割合が低い傾向にある。



R 2



R 1



出典：RESAS地域経済分析システム「From-to分析(宿泊者)」分析

本グラフの表示方法：観光マップ>From-to分析(宿泊者)>市町村単位で表示する>属性別に見る>参加形態別で表示する

※RESAS地域経済分析システムと市の宿泊者数調査の手法が異なるため、P 6, 7の数値と一致しない。

地域経済分析システム (RESAS:リーサス) とは

RESAS (「Regional Economy (and) Society Analyzing System」の略) は、地域経済に関する様々な官民ビッグデータ (産業、人口、観光、農業等) をわかりやすく「見える化 (可視化)」し、地方自治体による地方創生をはじめとする様々な取り組みを情報・データ面から支援するため、平成27年4月より内閣官房 (まち・ひと・しごと創生本部) 及び経済産業省が提供しているシステムです。 (経済産業省北海道経済産業局 総務企画部企画調査課ホームページより)

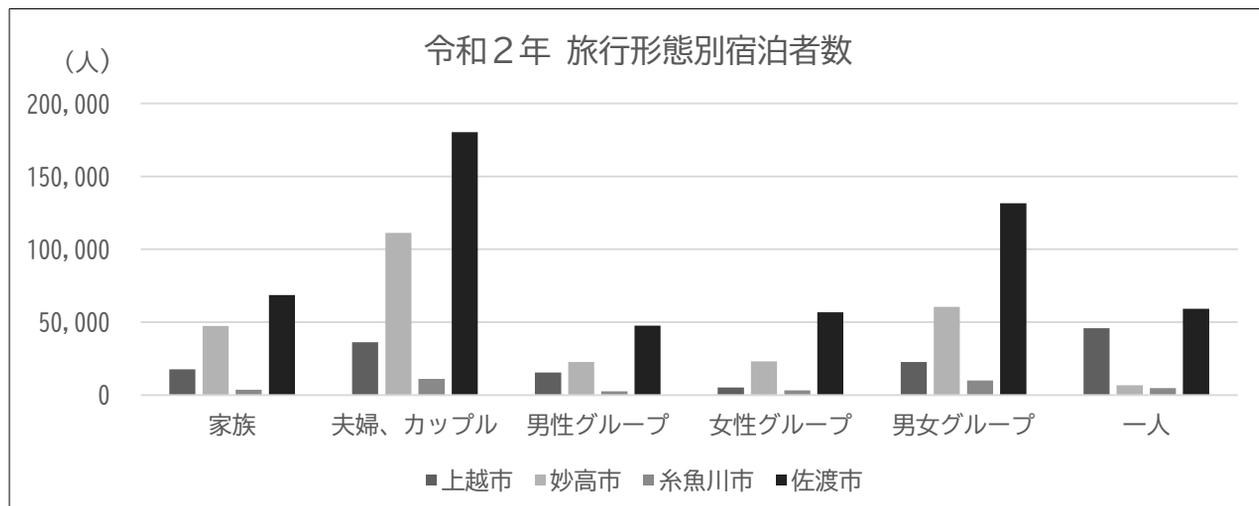
<https://www.hkd.meti.go.jp/hoksr/20170209/resas.pdf>

RESASの特徴

- ✓インターネットで誰でも利用可能
- ✓分かりやすい画面操作
- ✓データに基づいて、地域の実情を把握・分析できる

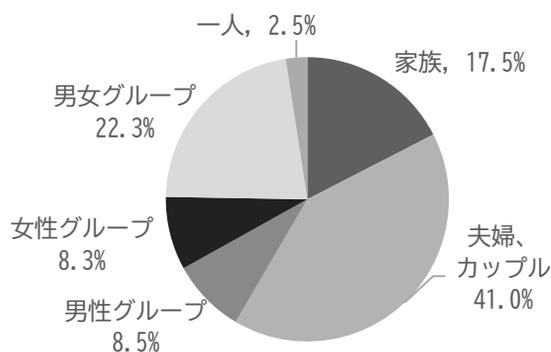
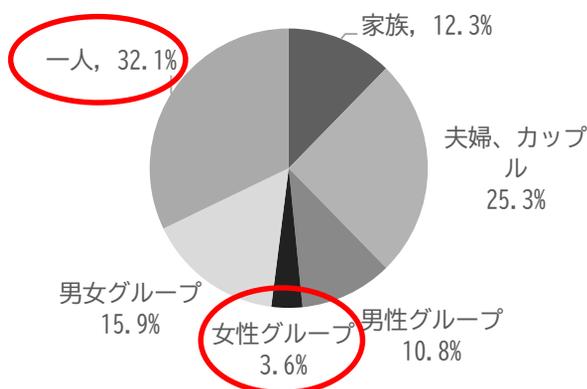
旅行形態における近隣市との比較(RESAS地域経済分析システムより)

- 「家族」を占める割合は、令和元年はいずれの市でも約20%程度であったのに対し、コロナ禍の令和2年では10%台となった。
- 上越市は「一人」が全体の約32%を占めており、他市よりも「一人」の占める割合が高い。
- 一方で、「女性グループ」の占める割合は4%程度で、他市と比べても割合が低い傾向にある。



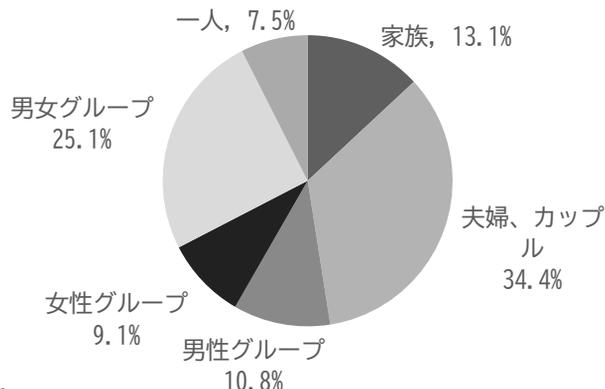
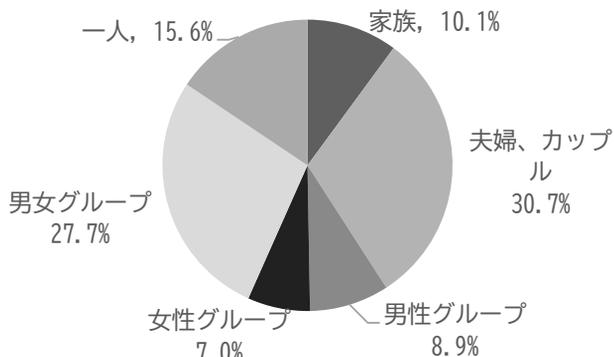
上越市 (R2)

妙高市 (R2)



糸魚川市 (R2)

佐渡市 (R2)



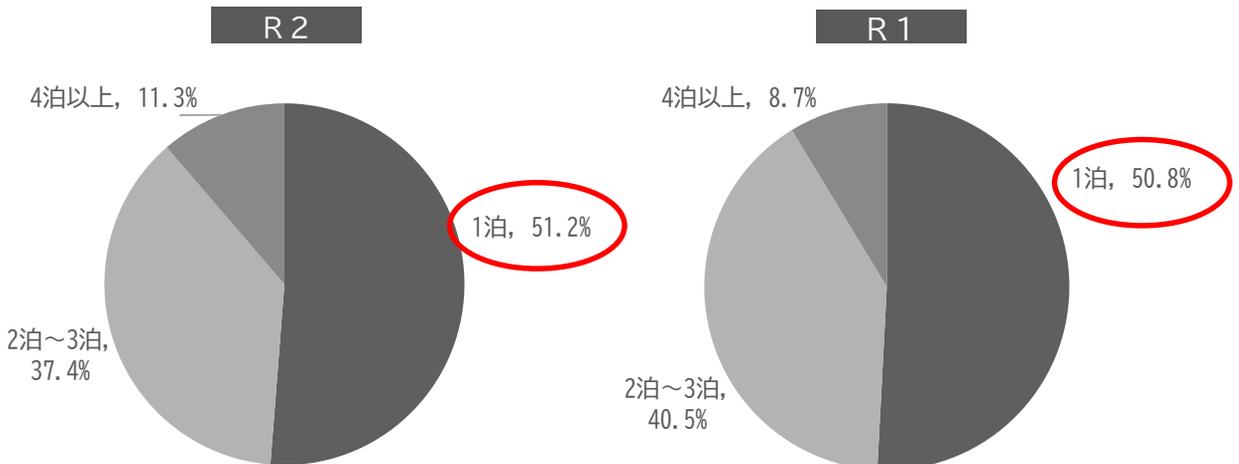
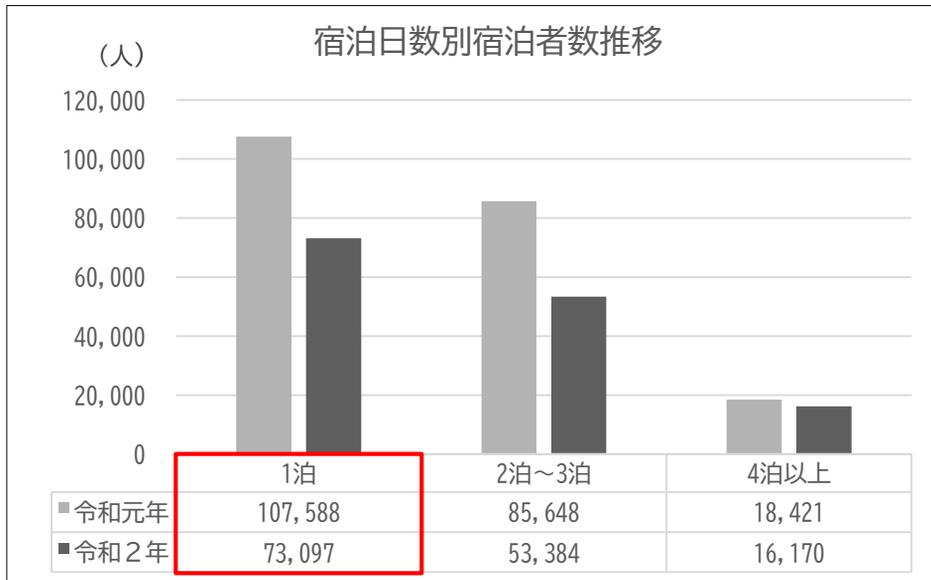
出典：RESAS地域経済分析システム「From-to分析(宿泊者)」分析

本グラフの表示方法：観光マップ>From-to分析(宿泊者)>市町村単位で表示する>属性別に見る>参加形態別で表示する

※RESAS地域経済分析システムと市の宿泊者数調査の手法が異なるため、P 6, 7の数値と一致しない。

上越市の宿泊日数における傾向(RESAS地域経済分析システムより)

- 宿泊日数別では「1泊」が一番多く、宿泊日数が長くなるにつれて宿泊者数が少なくなる傾向にある。「4泊以上」の宿泊者数は「1泊」の2割程度である。
- 「1泊」が全体の半数で、「1泊」と「2泊～3泊」で9割を占める。
- 令和元年と令和2年の宿泊日数の割合は概ね同じ傾向である。



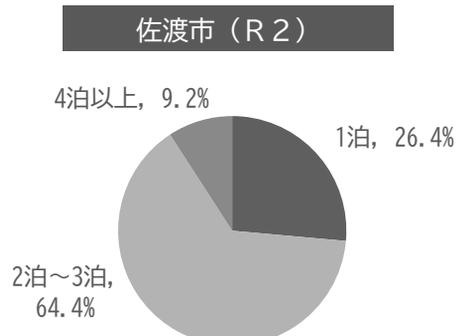
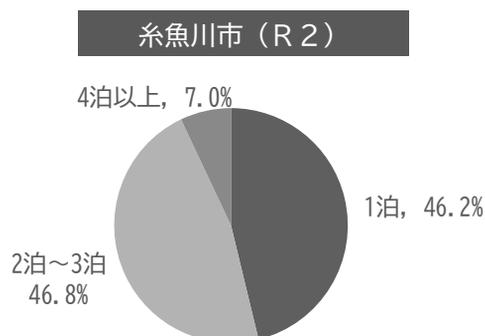
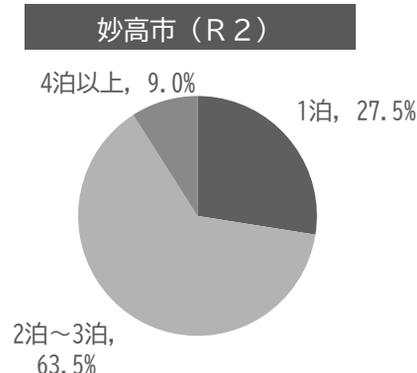
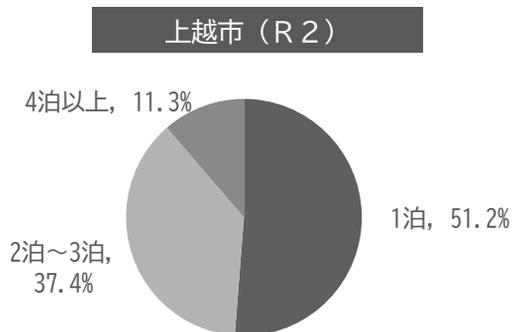
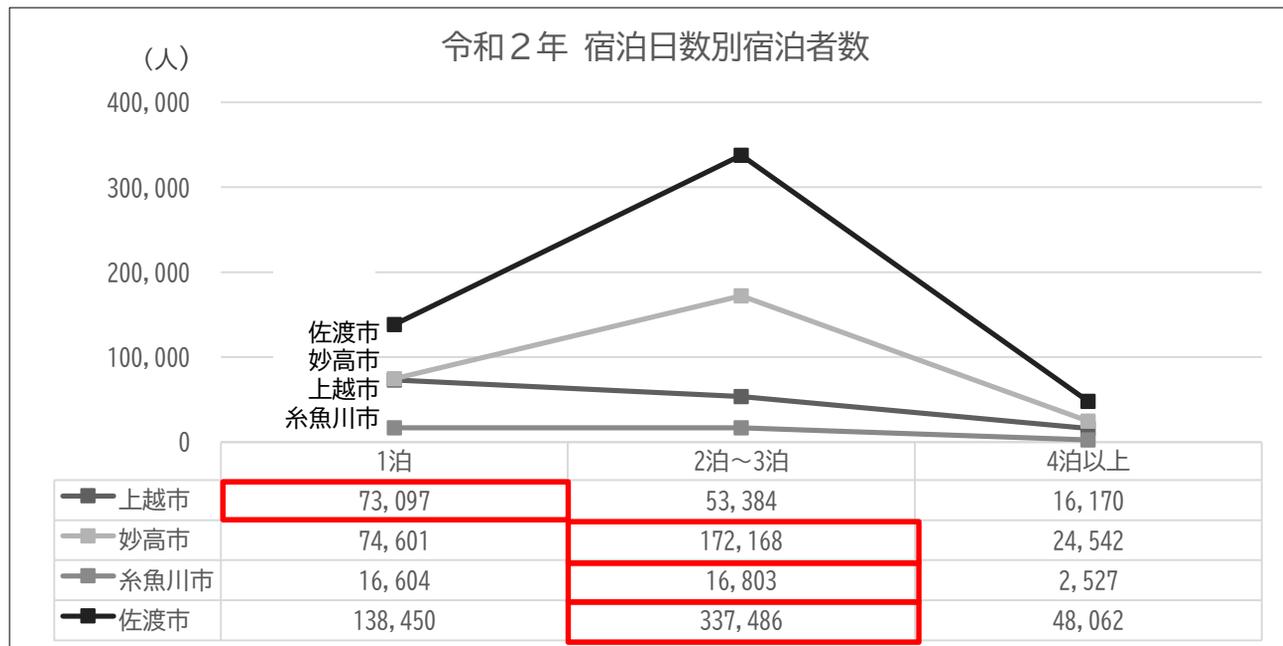
出典：RESAS地域経済分析システム「From-to分析(宿泊者)」分析

本グラフの表示方法：観光マップ>From-to分析(宿泊者)>市町村単位で表示する>属性別に見る>宿泊日数別で表示する

※RESAS地域経済分析システムと市の宿泊者数調査の手法が異なるため、P 6. 7の数値と一致しない。

宿泊日数における近隣市との比較(RESAS地域経済分析システムより)

- 上越市は「1泊」の宿泊者数が一番多く、他市は「2泊～3泊」が一番多い傾向にある。
- 割合で見ると、糸魚川市と類似した傾向となっている。



出典：RESAS地域経済分析システム「From-to分析(宿泊者)」分析

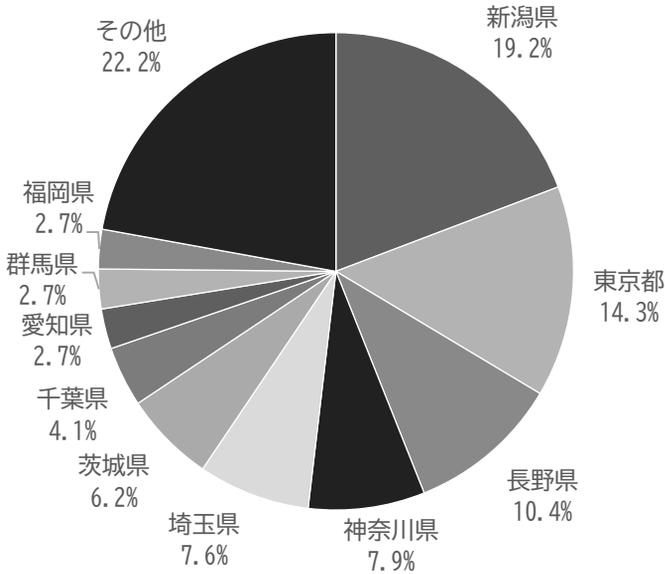
本グラフの表示方法：観光マップ>From-to分析(宿泊者)>市町村単位で表示する>他地域と比較する>宿泊日数別で表示する

※RESAS地域経済分析システムと市の宿泊者数調査の手法が異なるため、P6, 7の数値と一致しない。

上越市の都道府県別における傾向(RESAS地域経済分析システムより)

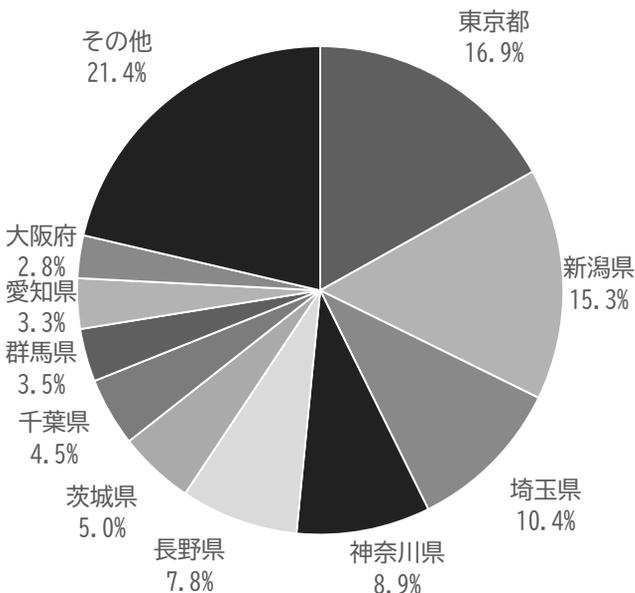
- 宿泊者の居住都道府県（宿泊者がどの都道府県から来たか）では、関東地方をはじめ、新潟県、長野県が上位の傾向にあり、令和元年と比較しても概ね同じ傾向である。
- 令和元年は東京都民と新潟県民が同程度の割合で市内に宿泊している傾向が見て取れたが、コロナ禍の令和2年は新潟県民の割合が増加した。

令和2年 居住都道府県別割合



1位 新潟県	27,372人	19.2%
2位 東京都	20,342人	14.3%
3位 長野県	14,777人	10.4%
4位 神奈川県	11,276人	7.9%
5位 埼玉県	10,815人	7.6%
6位 茨城県	8,813人	6.2%
7位 千葉県	5,804人	4.1%
8位 愛知県	3,860人	2.7%
9位 群馬県	3,823人	2.7%
10位 福岡県	3,799人	2.7%
その他	31,523人	22.2%

令和元年 居住都道府県別割合



1位 東京都	35,575人	16.9%
2位 新潟県	32,247人	15.3%
3位 埼玉県	21,909人	10.4%
4位 神奈川県	18,709人	8.9%
5位 長野県	16,427人	7.8%
6位 茨城県	10,577人	5.0%
7位 千葉県	9,567人	4.5%
8位 群馬県	7,386人	3.5%
9位 愛知県	7,015人	3.3%
10位 大阪府	5,938人	2.8%
その他	44,945人	21.4%

出典：RESAS地域経済分析システム「From-to分析（宿泊者）」分析 を基に上越市作成

本グラフの表示方法：観光マップ>From-to分析（宿泊者）>市町村単位で表示する>居住都道府県別に見る

※RESAS地域経済分析システムと市の宿泊者数調査の手法が異なるため、P6, 7の数値と一致しない。

3. インバウンド

上越市の国別外国人宿泊者

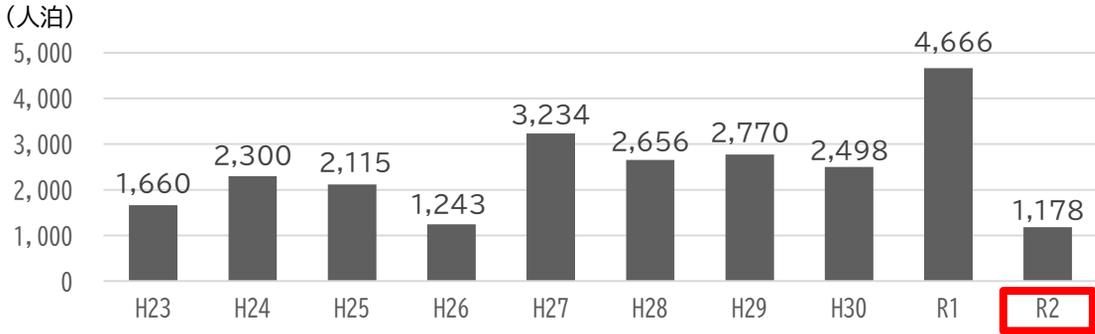
- 令和2年の外国人宿泊者数は1,178人泊（前年比▲3,488人泊）
- 令和2年2月頃から新型コロナウイルスの影響による宿泊者減少の傾向が見られる。
- 外国人の入国制限が続いたため、4月以降の宿泊者は在日外国人の宿泊だと考えられる。

↓外国人入国制限大幅拡大 R2/4/3~

年度	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
R2	543	394	38	19	14	16	31	26	19	25	17	36	1,178
R1	636	979	762	574	170	139	182	236	229	297	244	218	4,666
比較	▲93	▲585	▲724	▲555	▲156	▲123	▲151	▲210	▲210	▲272	▲227	▲182	▲3,488
													▲74.8%

※市の調査において回答があった施設の宿泊者数を合計したもの

外国人宿泊者数の推移[暦年]



【地域別・国別】

R 2

地域別	国別	人数
アジア	中国	268
	台湾	210
	韓国	61
	香港	35
	ベトナム	8
	タイ	7
	インドネシア	5
	マレーシア	3
	フィリピン	1
	中東	13
	アジア	7
欧州	オーストラリア	45
	フランス	29
	ポルトガル	24
	イギリス	11
	ドイツ	8
	クロアチア	1
オセアニア	オーストラリア	84
北米	アメリカ	60
	カナダ	1
中南米	メキシコ	5
	ブラジル	1
	中南米	4
その他・不明	南アフリカ	1
	不明	286
合計	合計	1178

出典：H23～H26…観光庁「宿泊旅行統計調査」を基に市で作成。

H27～H30…新潟県「外国人宿泊者数の県内別推計について」を基に市で作成。

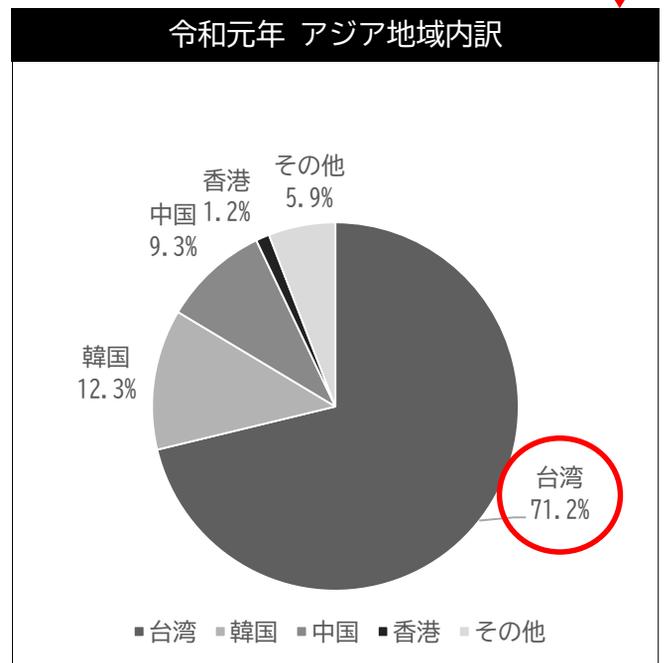
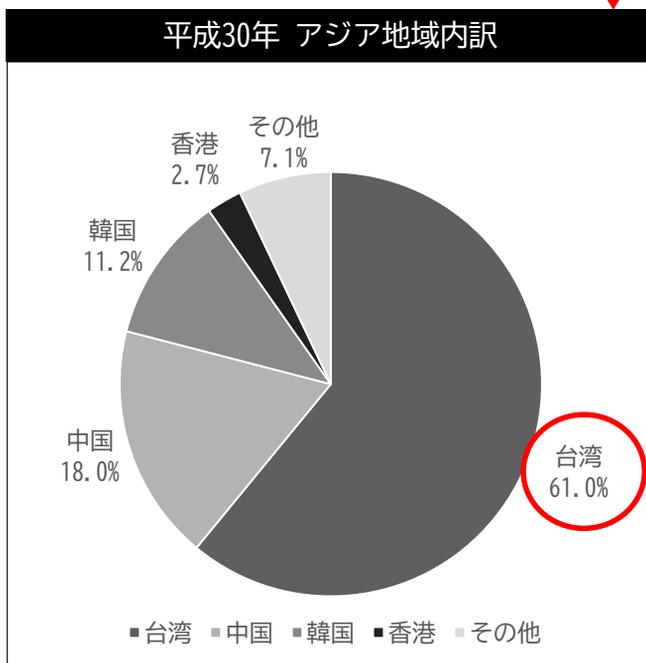
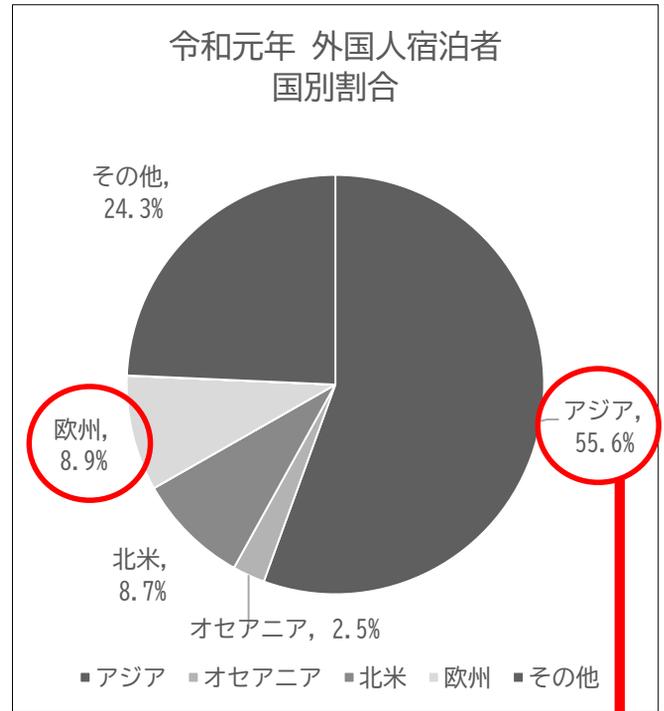
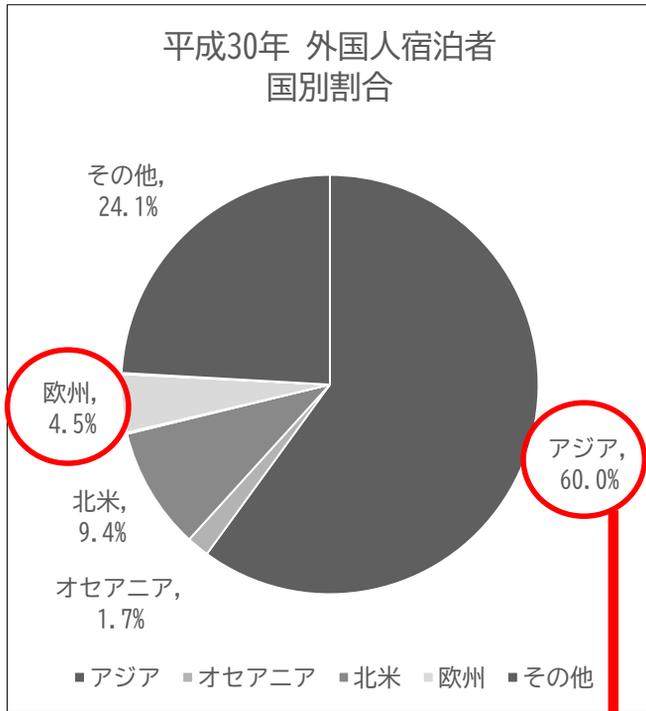
R1以降…宿泊事業者への上越市独自調査を基に作成。（R1以降は県が個別数値の公表を取りやめたため、市独自調査の数値を記載）

※市独自の調査方法：市内の宿泊事業者（約90者）へ調査票を送付し、回答があった施設の外国人宿泊者数の合計値

【参考:コロナ前】国別外国人宿泊者の割合

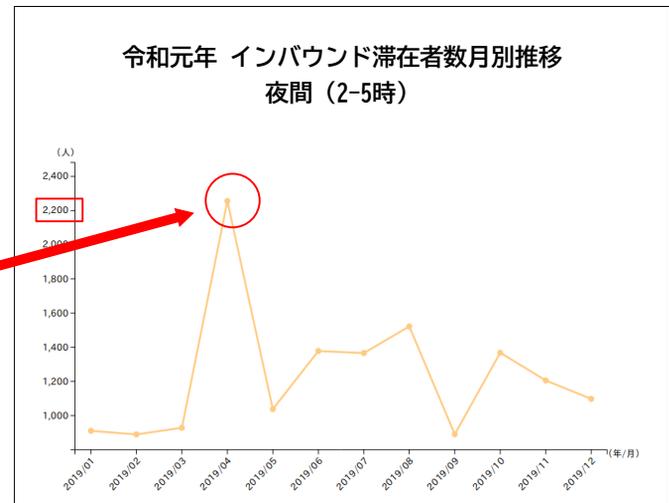
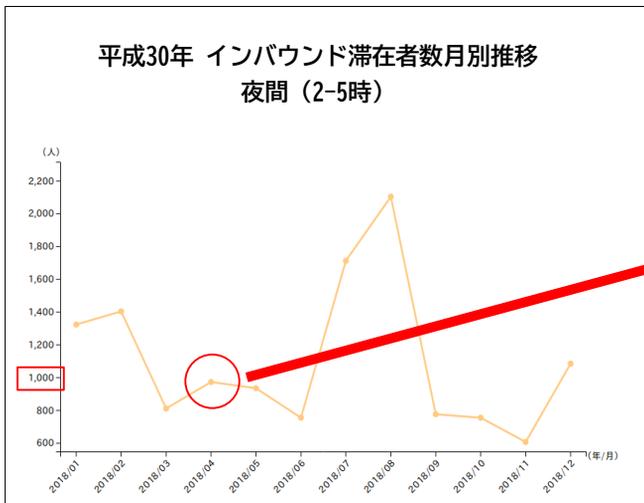
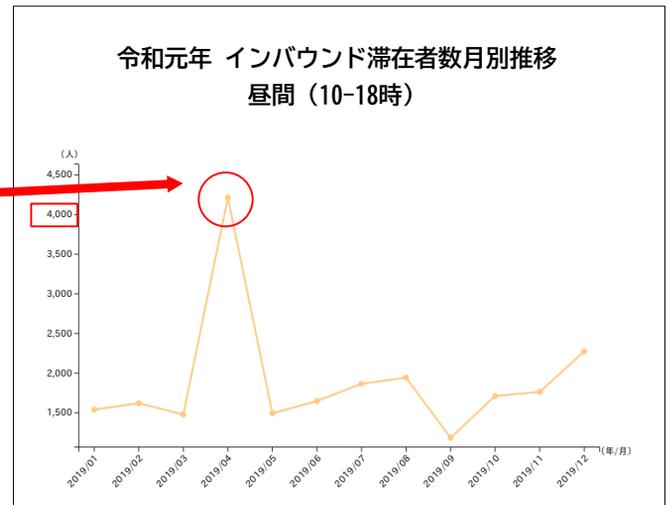
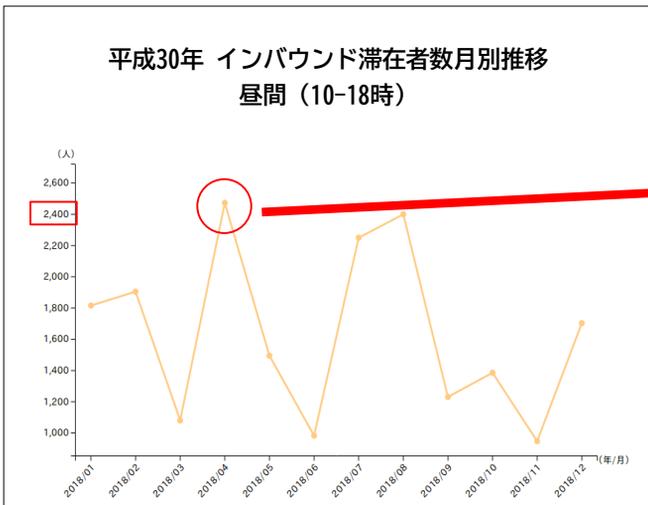
コロナ前

- 上越市の外国人宿泊者割合を国別で見ると、アジアからの来訪が最も多く、全体の5割以上を占めている。アジア地域を国別で見ると台湾が最も多く、令和元年では71.2%を占めており、次いで韓国、中国の順に多い。
- 平成30年と令和元年では、欧州が4.4%増加したほか、北米とオセアニアは同水準で推移している傾向が見て取れる。また、アジア地域で見ると、台湾の比率が10.2%増加している傾向にある。



出典：宿泊事業者への上越市独自調査を基に作成

- 昼間帯では、平成30年と令和元年を比較すると、4月の滞在者が約1.7倍に増加している。また、夜間帯も同様に4月は増加傾向にあり、その数は約2.3倍となっている。
- 昼間帯及び夜間帯ともに、4月・8月・12月に比較的滞在者数が多い傾向にある。
- 各年における折れ線グラフは、昼間帯と夜間帯でおおよそ形が類似している傾向がみられるが、平成30年4月は昼間帯が年間の中でも大きな山を示しているのに対し、夜間帯はそれほど山が大きい。一方で、令和元年4月は昼間帯及び夜間帯ともに大きな山を示している。本データは昼間帯または夜間帯に2時間以上滞在した外国人数から算出しており、夜間滞在を宿泊と見立てると、令和元年4月は昼間帯に当市に滞在した外国人が、他市ではなく当市に宿泊した可能性が伺える。



出典：RESAS地域経済分析システム「From-to分析（宿泊者）」分析

本グラフの表示方法：観光マップ>外国人滞在分析>市町村単位で表示する>表示年月日を指定する>表示時間帯を指定する>推移を見る

4. 観光消費額

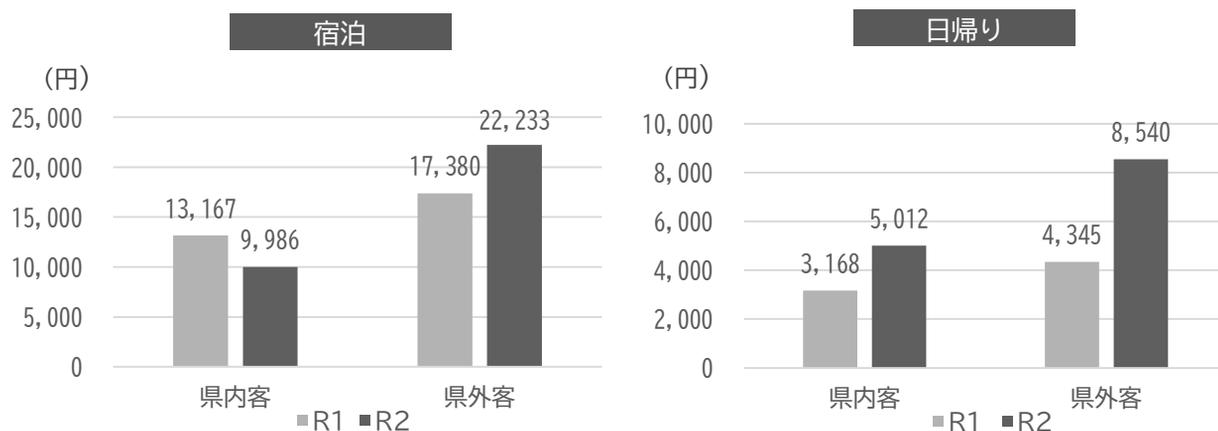
上越市の観光消費額

- 観光入込客の総消費額の推計値では、令和2年は86億9400万円で、令和元年から57億8900万円の減額となっている。
- 令和2年の観光客一人あたりの平均消費額単価をみると、宿泊では県内客より県外客が12,247円多く消費し、日帰りでは県内客より県外客が3,528円多く消費していると算出結果となった。
- 令和2年と元年との比較では、県内客の宿泊を除き、消費額単価が増加した。

	令和元年	令和2年	差額
観光消費額 (推計値)	144億8300万円	86億9400万円	▲57億8900万円

【観光入込客1人あたりの平均消費額単価】 ※日本人・観光目的

年	観光消費額単価 (円/人回)			
	県内客		県外客	
	宿泊	日帰り	宿泊	日帰り
令和2年	9,986	5,012	22,233	8,540
令和元年	13,167	3,168	17,380	4,345
R2-R1の比較	▲3,181	+1,844	+4,853	+4,195



出典：「観光入込客統計に関する共通基準（観光庁）」に基づき、上越市独自で観光地点パラメータ調査（聞き取り調査）を実施し、推計値を算出。新潟県の数値は、同基準による観光庁公表データを参照した。

5. その他

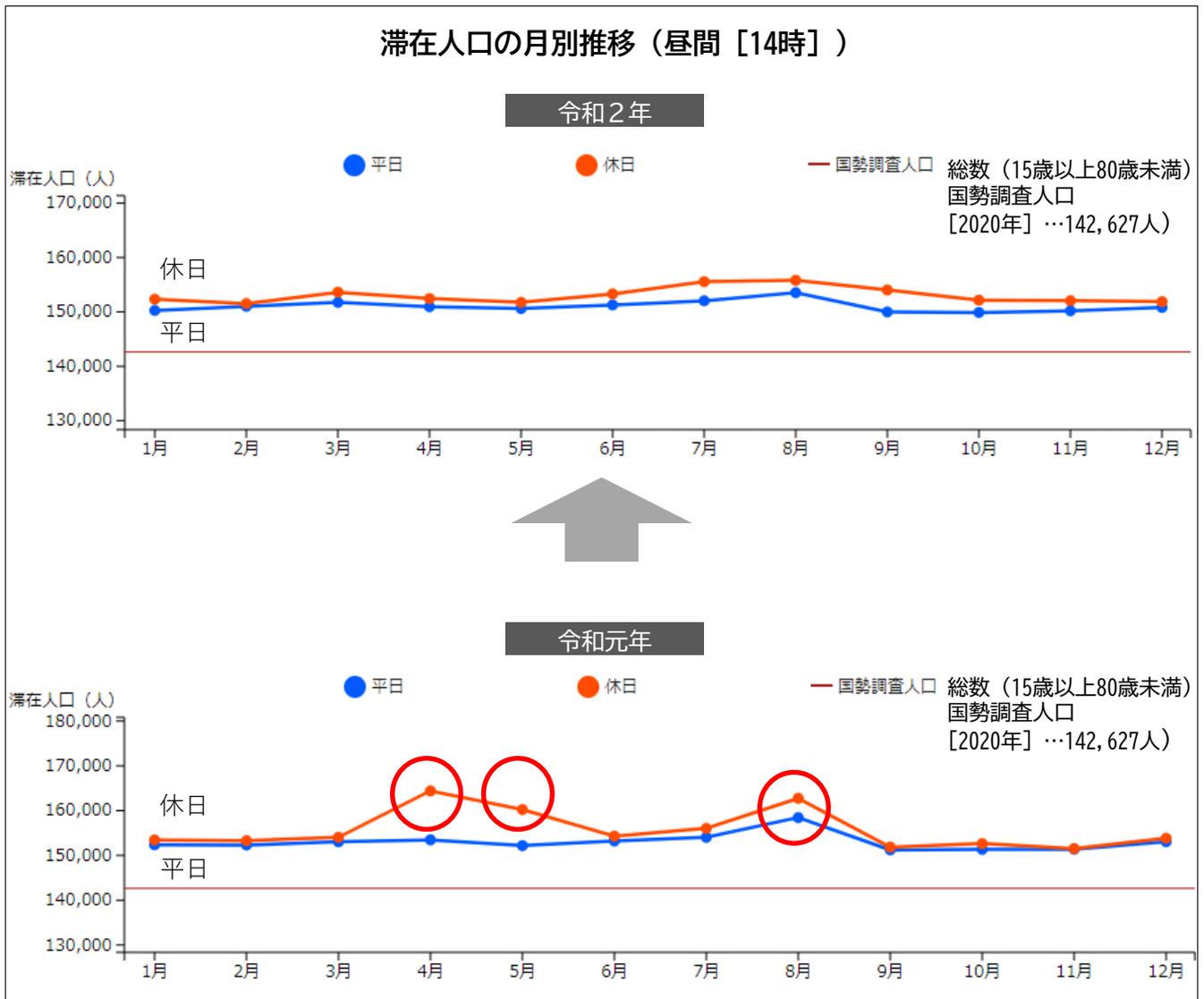
どの程度の人数が市外から来ているか(RESAS地域経済分析システムより)

RESASの「滞在人口」分析は、国勢調査人口を基準として、どの程度の人数が市内に滞在しているか把握できるもの。

本頁は、昼間（14時）に滞在していた人数の月間平均値（平日・休日別）を表しているものである。

国勢調査による当市人口に対して、いずれの折れ線グラフも当市人口を上回っていることから、平日・休日ともに、市外の人が上越市に滞在していると推察される。

- コロナ前の令和元年は、休日の滞在人口を示す折れ線グラフにおいて、4月、5月、8月に大きな山があり、他の月より滞在人口が多い傾向にあった。併せて、平日の折れ線グラフにおいても、夏休みシーズンの8月に山を示している。
- 一方で、コロナ禍の令和2年は折れ線グラフに大きな山はなくなっている。



出典： RESAS地域経済分析システム「滞在人口率」分析

本グラフの表示方法：まちづくりマップ>滞在人口率>表示年月日を指定する>表示時間帯を指定する>表示する性別を指定する（総数）>表示する年代を表示する（15歳以上80再未満）>グラフを表示

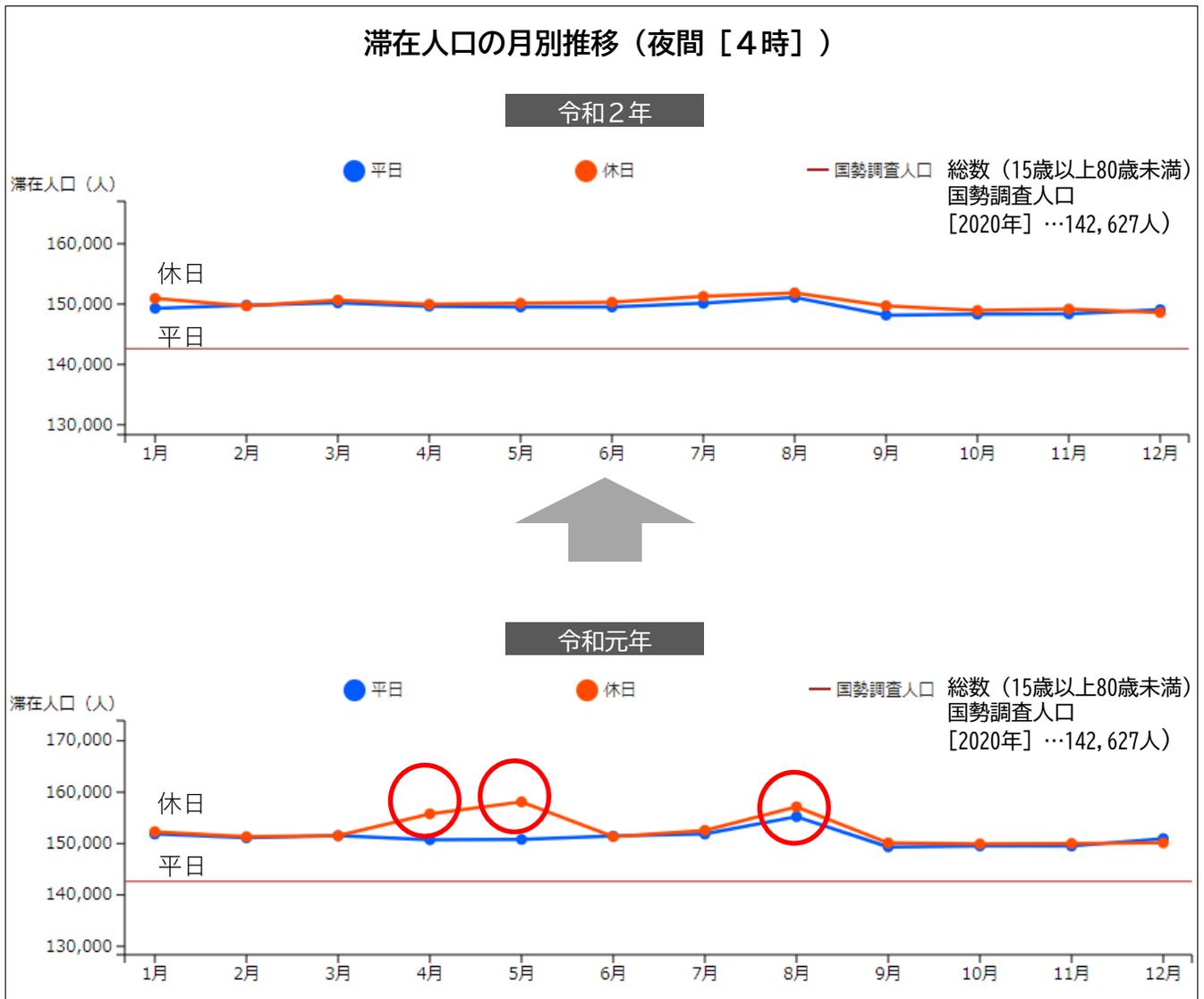
どの程度の人数が市外から来ているか(RESAS地域経済分析システムより)

RESASの「滞在人口」分析は、国勢調査人口を基準として、どの程度の人数が市内に滞在しているか把握できるもの。

本頁は、夜間(4時)に滞在していた人数の月間平均値(平日・休日別)を表しているものである。

国勢調査による本市人口に対して、いずれの折れ線グラフも本市人口を上回っていることから、平日・休日ともに、市外の人が上越市に滞在していると推察される。

- コロナ前の令和元年は、休日の滞在人口を示す折れ線グラフにおいて、4月、5月、8月に大きな山があり、他の月より滞在人口が多い傾向にあった。特に、観桜会が実施された4月より、5月のほうが夜間の滞在人口が多くなっている。
- 一方で、昼間の傾向と同様、コロナ禍の令和2年は折れ線グラフに大きな山はなくなっている。



出典：RESAS地域経済分析システム「滞在人口率」分析

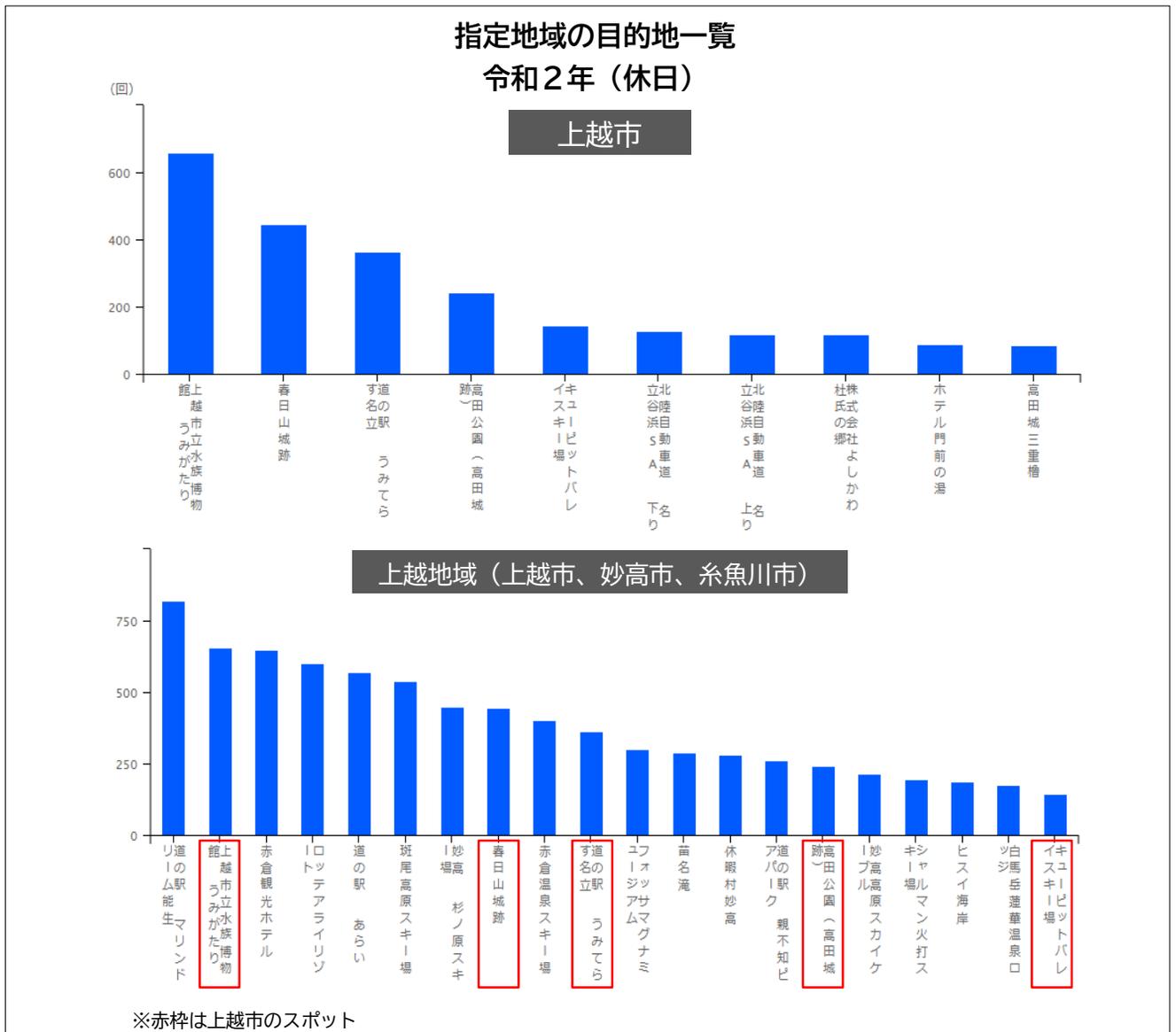
本グラフの表示方法：まちづくりマップ>滞在人口率>表示年月日を指定する>表示時間帯を指定する>表示する性別を指定する(総数)>表示する年代を表示する(15歳以上80再未満)>グラフを表示

上越市と周辺地域における観光スポットの人気ランキング

RESASの「目的地分析」は、ウェブサイトやスマートフォン向けに提供されている経路検索サービスにおいて、ユーザーによる目的地の検索回数を把握できるもの。

本頁は、「令和2年・休日・自動車」での検索結果を表しているものである。

- 上越市の観光スポットの人気ランキングをみると、「うみがたり」や「春日山城跡」、「高田城址公園」などが上位を占めている。
- 指定地域を上越市・妙高市・糸魚川市に拡大してみると、妙高市や糸魚川市の道の駅や、スキー場が上位に入る。



出典：RESAS地域経済分析システム「目的地」分析

本グラフの表示方法：観光マップ>目的地分析>都道府県を選択>表示年月日を指定する>平日・休日を指定する>交通手段を指定する>目的地検索ランキングを表示

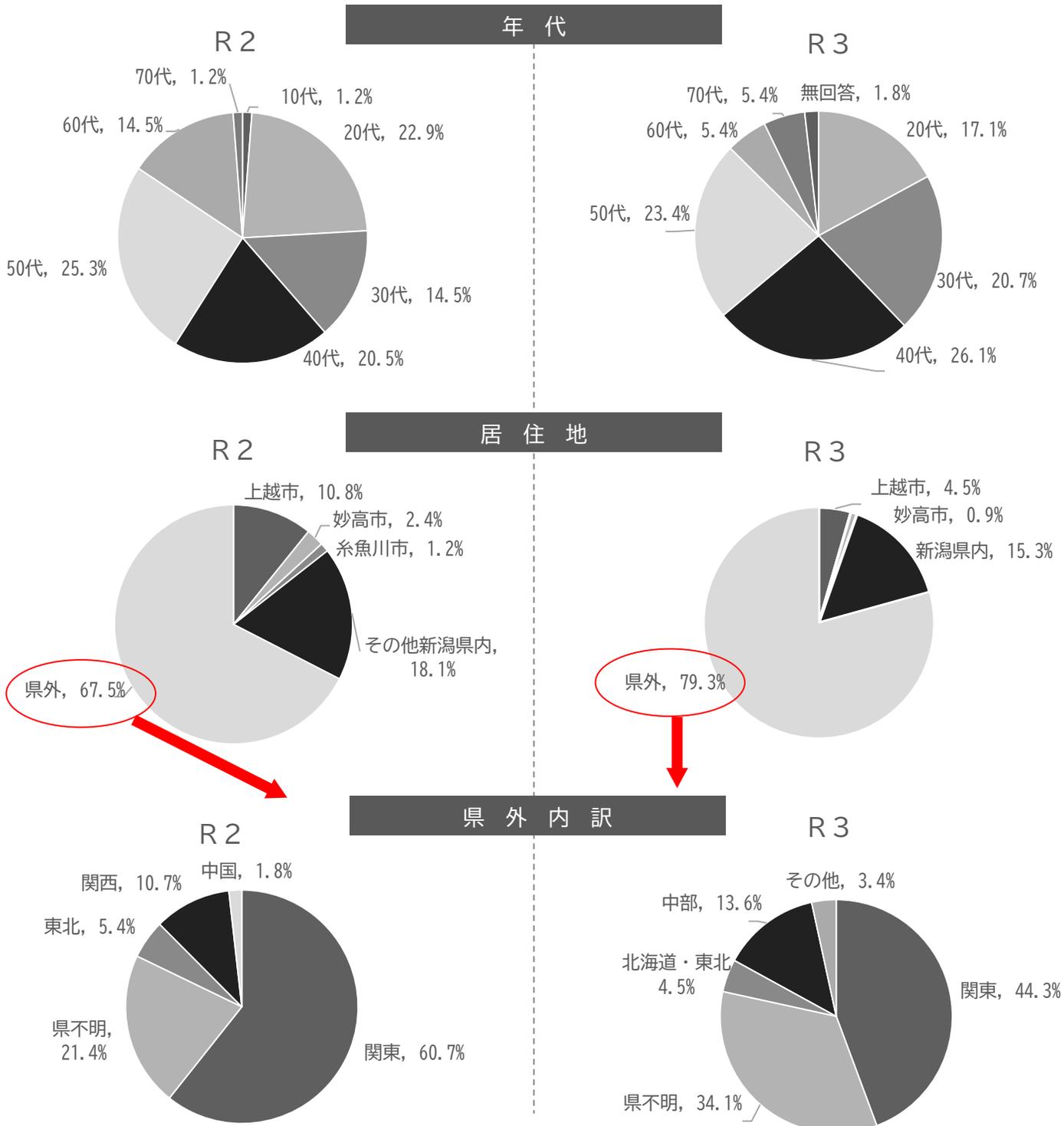
城下町高田レンタサイクル事業の利用状況

○ 街なか回遊観光を促進するため、高田地区において実証実験として令和2年度から引き続きレンタサイクル事業を行い、4月1日から11月30日までに124人の利用があった。

(R2は7/18~11/30の期間で97人の利用)

○ アンケート結果をみると、利用者の年代に偏りはみられず、20代から60代まで広く利用があった。

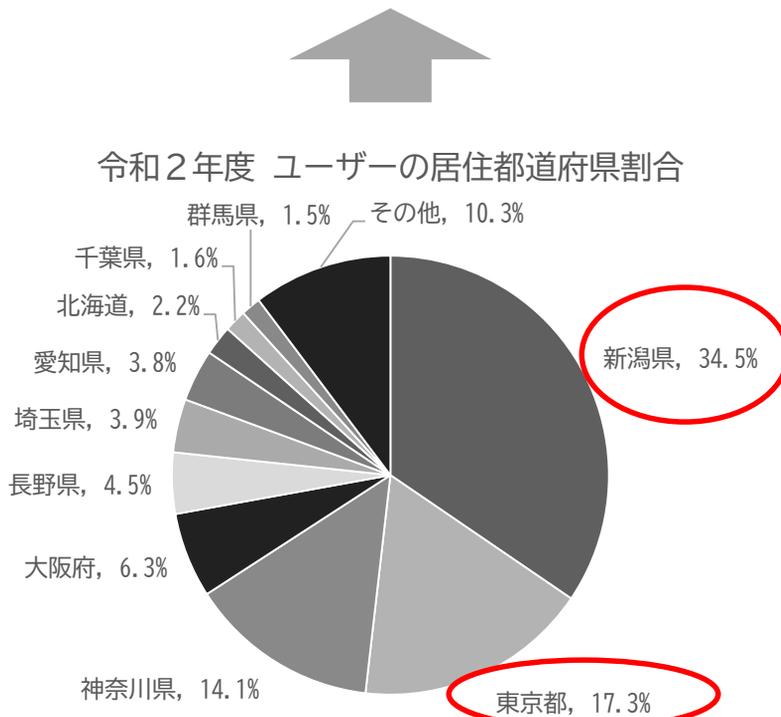
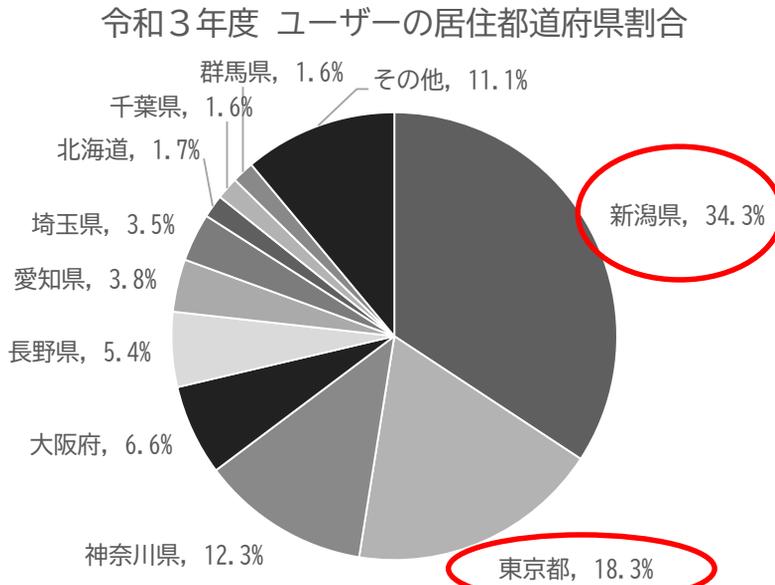
○ 利用者の居住地では、令和3年度は県外の方の利用が79%と多数を占めた。



出典：城下町高田レンタサイクル事業アンケート結果

上越市観光情報サイト(上越観光Navi)アクセス解析

- 令和3年度の上越市観光サイト「上越観光Navi」における地域別ユーザー割合は、新潟県が最も多く、次いで東京都であり、令和2年度と同様である。また、割合にも大きな変化はない。
- 令和2年度と3年度では、上位10の都道府県は変わらない。
- 12ページの宿泊者の都道府県別における傾向と同様に、新潟県と東京都からのアクセスが多い。



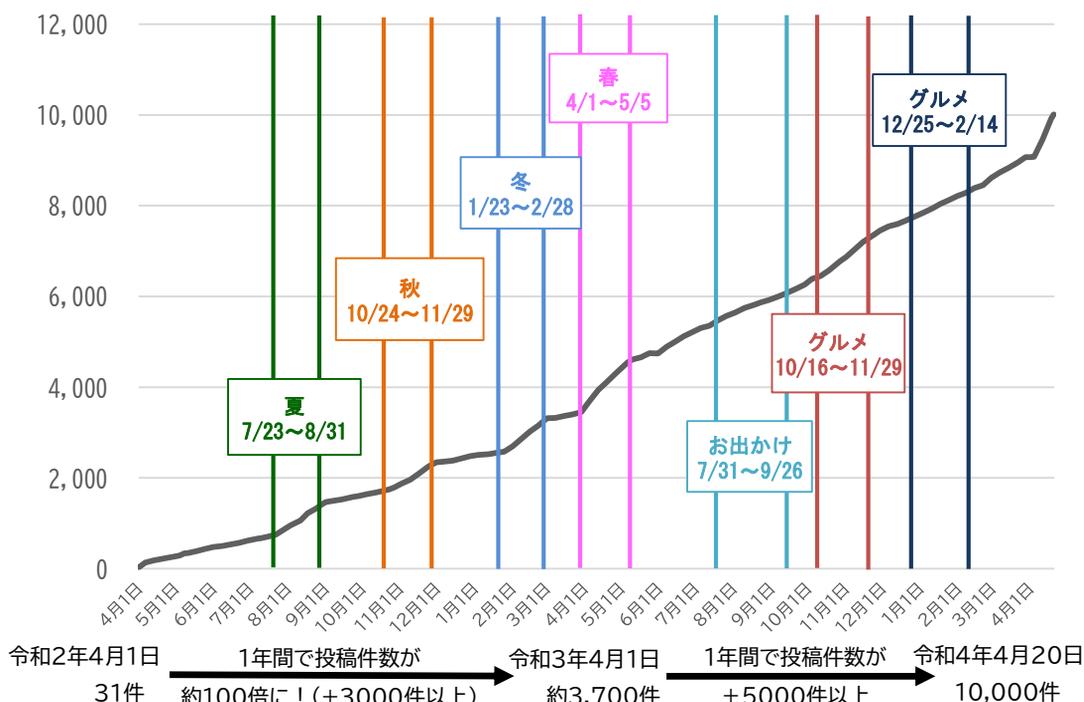
出典：上越市観光NaviのGoogleアナリティクス分析を基に上越市作成

#上越もよう（上越市オリジナルハッシュタグ）の投稿件数

- 市民のみなさんをはじめ、当市に訪ねていただいたみなさんからも、市のまちなみ、自然、歴史、食などの写真に「#上越もよう」を付けてInstagramに投稿いただいている。
- 令和4年4月20日時点で約10,000件の以上の投稿が集まっている。
- 「上越忠義隊けんけんず」のアカウントでは、それぞれのSNSの特性に合わせて、「写真の載せ方」「文量の調整」「ハッシュタグの工夫」など変化を加えながら情報発信を行っている。

投稿件数・フォロワー数	R元年6月 (起点)	R2年4月	R3年4月	R4年4月
#上越もよう 投稿件数(累計)	—	31	3,700	10,000
Instagram(@kenkenzu_joetsu_niigata)フォロワー数	91	202	753	1,286
Facebook(上越忠義隊けんけんず) フォロワー数	31	47	97	160
Twitter(@kenkenzu_joetsu) フォロワー数	63	134	304	630

【「#上越もよう」投稿件数】※当ハッシュタグを活用した計7回のフォトコンテスト・キャンペーンの期間も併記



投稿写真は、観光PR素材として活用



↑上越観光ナビトップページ



↑広報上越

出典：投稿件数及びフォロワー数を基に上越市作成

上越市観光交流ビジョンに基づく
上越市の観光に関するデータ集
令和4年5月 発行

発行 上越市
編集 上越市 産業観光交流部 観光交流推進課
〒943-8601 新潟県上越市木田1丁目1番3号
TEL (025) 520-5739 FAX (025) 520-5852
URL <https://www.city.joetsu.niigata.jp/>